

- 14 お子様に喘息発作が起きて、あなたがどう対応して良いかわからなくなることがありましたか
ものすごく かなり すこし まったくない
- 15 お子様に喘息があることで、睡眠中や夜中に発作になるのではないかとあなたが不安になることはありましたか
ものすごく かなり すこし まったくない
- 16 お子様に喘息があることで、あなたが精神的に不調をきたしてしまうことはありましたか
ものすごく かなり すこし まったくない
- 17 お子様に喘息があることで、あなたがお子様の様子に過敏になったり、神経質になってしまうことはありましたか。
ものすごく かなり すこし まったくない
- 18 お子様に喘息があることで、掃除や洗濯の負担をどのくらい感じましたか。
ものすごく かなり すこし まったくない
- 19 お子様に喘息があることで、布団対策(布団干し・掃除機がけ・特殊カバーの手入れ等)の負担をどのくらい感じましたか。
ものすごく かなり すこし まったくない
- 20 お子様に喘息があることで、お子様の将来について不安になることはありましたか
ものすごく かなり すこし まったくない
- 21 お子様が喘息のために使う薬について、副作用が心配になることはありましたか
ものすごく かなり すこし まったくない
- 22 お子様に喘息があることで経済的負担をどれくらい感じましたか。
ものすごく かなり すこし まったくない

質問 23・24 については、小中学校・幼稚園に通学、通園中のお子様のみお答えください

- 23 お子様に喘息があることで、お子様の勉強の遅れが心配になることはありましたか
ものすごく かなり すこし まったくない
- 24 お子様の喘息について学校や幼稚園に理解してもらうのに大変さを感じることはありましたか
ものすごく かなり すこし まったくない

無断使用・転載禁止@大矢幸弘 連絡先：国立成育医療センター第1専門診療部アレルギー科

DEVELOPMENT OF QUALITY OF LIFE ASSESSMENT SCALE FOR CAREGIVERS OF
ASTHMATIC CHILDREN (QOLCA-24)

Hiroko Watanabe¹⁾³⁾, Toshio Katsunuma⁴⁾, Naomi Kondo⁵⁾,
Akira Akasawa²⁾ and Yukihiro Ohya¹⁾

¹⁾Department of Allergy, National Center for Child Health and Development

²⁾Department of Inter Disciplinary Medicine, National Center for Child Health and Development

³⁾Department of Allergy, National Hospital Organization Kanagawa Hospital

⁴⁾Department of Pediatrics, The Jikei University School of Medicine

⁵⁾Department of Pediatrics, The Gifu University School of Medicine

Purpos: We developed the Health related QOL questionnaire which is specific for a caregiver of an asthmatic child, who has been treated based on JPGL (Japanese Pediatric Guideline for the Treatment and Management of Asthma).

Method: Based on the answers collected anonymously or with interviews concerning caregivers' quality of life influenced by having children with asthma, the multipul choice secondary questionnaire was made. Through psycho-analytic procedures of the data from secondary survey 24-item questionnaire (QOLCA-24) has been developed.

Result: Factor analysis revealed 11 factor structure of QOLCA-24. Internal consistency (cronbach α) of whole 24 items was 0.942. κ value which showed repetition plasticity was 0.27-0.53. The responsiveness associated with change of symptoms were significant in the items of factor 1 (Fear of asthma attack) and factor 7 (Job related burden of the caregiver). The score of most factors in QOLCA-24 were correlated with score of each item in SF-8.

Conclusion: QOLCA-24 is thought to be useful as a tool to evaluate QOL of caregivers with asthmatic children.

平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金
免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業
「気管支喘息の有症率、ガイドラインの普及効果と QOL に
関する全年齢全国調査に関する研究」研究報告書

発行 平成 21 年 3 月 31 日
発行者 国立成育医療センター 総合診療部
赤澤 晃

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1